

海上自衛隊練習艦かしま艦上レセプション 梅田大使挨拶
2015年7月28日 18:30 (於レシフェ港)

パフィアダッシェ伯陸軍北東部司令官、モレイラ伯海軍第三管区司令官、ヴォルクメル伯空軍第二空域司令官、ネーヴェス・ペルナンブコ州裁判所所長、ナヴァロ連邦地方裁判所所長、シルヴァ・ペルナンブコ州地方選挙裁判所所長、コルデイロ・ペルナンブコ連邦警察地方支部長、メロ州科学技術局長、リラ州議会議員、レジス・レシフェ市議、在レシフェ外交団各位、オリヴェイラ在サルヴァドル名誉総領事、伊与田レシフェ日本文化協会会長、タハラ・バイア州日伯文化連盟会長、ミズシマ・サルヴァドル日伯文化協会会長。フジタ・セアラ州日伯文化協会会長、並びにご出席の皆様。

本日、日伯外交関係樹立120周年の節目の年に、中畑司令官と共にレセプションを開催できることを大変嬉しく思います。皆様のご参加に心から感謝申し上げます。

海上自衛隊練習艦隊がブラジルに初めて寄港したのは丁度50年前の1965年です。以来、ブラジルには10回寄港し、今回が11回目となります。

練習艦隊は、今回の寄港では、音楽演奏やスポーツ交流に加え、初めて親善訓練や士官候補生交流といった海軍種の交流が行われます。この背景には、昨年8月、安倍総理とルセーフ大統領との間で防衛分野において積極的な交流を開始することで一致した経緯があります。これらの防衛交流が、日伯外交関係樹立120周年を迎える今年、開始されることは大変意義深いものと考えます。

今回の練習艦隊の受け入れに際し、多大なご支援を頂くとともに、防衛交流という新たなチャレンジにご理解と惜しみないご協力を頂いた第3管区司令官及び伯海軍関係者に心からお礼申し上げます。

また、この機会に、本寄港に伴う各種行事の実施に配慮を頂くとともに、日頃から当地の日系社会に配慮頂いている、ペルナンブコ州及びレシフェ市関係者の方々に感謝申し上げます。

昨年6月14日、FIFA サッカーW杯で日本代表はここレシフェのアリーナ・ペルナンブコ・スタジアムで初戦を、二戦目をリオグランデドノルテ州のナタルで戦いました。この場を借りて、昨年のW杯において、延べ約1万人に及ぶ日本人サポーターが安全に観戦・滞在できたことに改めて感謝申し上げます。

最後に、皆様のご健勝と日伯関係の更なる発展を祈念し、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(了)